



～躍進する部活動～

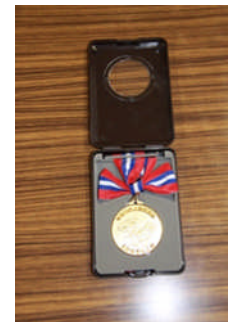
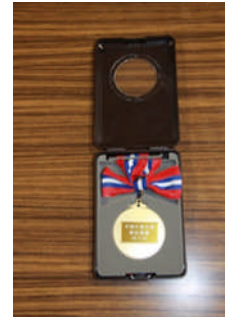
【吹奏楽部 東関東選抜大会金賞受賞】

6月12日(日)、第17回東関東選抜吹奏楽大会が茨城県ひたちなか市文化会館で開かれ、栃木、茨城、神奈川、千葉の吹奏楽連盟から推薦された15団体による演奏が披露された。平塚中等教育学校吹奏楽部も日ごろの成果が認められ、神奈川県吹奏楽連盟から推薦され代表出場を果たした。当日は、昼食休憩を挟んで、午後の最初に演奏が開始。総勢112名と、他の出場団体を大きくしのぐ参加人数。演奏は、吉田直樹教諭指揮により、1曲目が「プラハのための音楽1968」。怒りや悲しみなどに対する感情を音楽で表現した曲で、ティンパニーとフルートの静かな音色からはじまり、曲が進むにつれて当時を思わせる悲哀と激動を表現した演奏に会場も息を呑む。最後は、壮絶な時代を生き抜いた人々の思いが伝わるような雰囲気味わわせてくれた。そして、2曲目に入るところで黒の衣装から赤いベストを羽織り雰囲気がガラリと変化。2曲目は、定期演奏会でも披露したディープ・パープル・メドレー。指揮者の吉田教諭も赤いマントをなびかせて、曲のイメージを膨らまし、会場が一体となる演出を披露。まさに会場と一体感が生まれた瞬間である。曲が終わったところで大きな拍手を受けた生徒たちは、無事演奏を終えた安堵感と達成感がみなぎっている。少ない練習時間の中でそれぞれのパートに責任を持って取り組み、100名を超える演奏ができたことに拍手を送りたい。結果は、金賞受賞という大変名誉な賞をいただいた。県内コンクールに向けて、中学生大会、高校生大会と弾みをつけられたのではないか。益々今後の期待が膨らんでくるが、チームワークを大切に、一人ひとりの思いが成果となって表れてほしいと願う。



【平塚市陸上競技選手権大会】

5月22日(日)、第59回平塚市陸上選手権大会がShonan BMW スタジアム平塚で開催。本校の陸上競技部前期生が出場した。各学年における団体種目や個人種目で好記録を出し入賞した生徒が多くいる中、2年男子砲丸投で池田直喜君が10m26の大会新記録で優勝。後日、平塚市陸上競技協会OBなどでしこ会の石井会長と原田事務局長が学校を訪問、新記録樹立記念メダルが届けられた。その際、今後の平塚中等陸上競技部の成長に期待するとエールをいただいた。



【囲碁で全国大会出場】

6月12日(日)、第37回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会神奈川県予選会が相模原市民会館で開催。2年齊山天彪(さいやま たかとら)君が見事全国大会出場を果たした。全国大会は、東京都にある日本棋院で開催される。また、6月5日、第40回全国高校囲碁選手権大会神奈川県大会では、団体戦準優勝という結果に終わり、惜しくも全国大会は叶わなかったが今後の活躍に期待したい。

【翠星祭体育部門開催直前】

6月18日(土)に本校の一大行事である翠星祭体育部門が開催される。現在、1年生から6年次生まで、各学年種目やブロック種目の練習・準備に熱心に取り組んでいる。人間関係を構築していく上で必要な表現コミュニケーション力等を高める最高の行事である。行事をとおして、団結、協力、積極的な行動、その結果の成功、失敗等々様々な経験を積んでほしい。